

平成30年度 江戸川区立松江学校 学校関係者評価報告書(学校経営計画・学校関係者評価シート)

学校教育目標	「かがやき」 力いっぱい笑顔いっぱい松江の子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	目指す学校像 ・考える楽しさ、分かる喜びのもてる学校・地域とともにある姿が見える学校・チーム力が実感できる学校 目指す児童像 ・よく考える子・思いやりのある子・健康な子 目指す教師像 ・指導力と計画力があり、教師としての使命感に燃えた明るく積極的に協力協働できる教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> ○問題解決学習や探究的な学習を基盤にして、授業改善に取り組んだ。 ○エンカレッジルームの整備と活用 <課題> ○基礎・基本の定着や更なる学力向上 ○学校図書館の更なる活用		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	評価指標・評価基準		自己評価			学校関係者評価		次年度に向けた改善策
			取組指標	成果指標	取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	陸上指導2回、中学生読み聞かせ1回、教員研修(授業公開)、チャレンジザドリム3回	授業公開による研修・各校1回以上、地域や先輩との交流の機会…年10回	A	B	授業公開によって、教員の研修の機会となった。読み聞かせ、地域運動会などで児童・生徒の交流ができた。	B	小中連携スタンダードの取り組みは素晴らしい。地域や保護者にも周知してさらに高めていきたい。	小中連携スタンダードの徹底及び、授業公開等による授業改善
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	ICT補習教室の実施、教員ICT研修年3回実施	高学年のPCによるプレゼン作成、教職員のデジタル機器の授業利用率向上	A	A	各学年でのPC指導の充実を図った。6年は、地域防災訓練でプレゼンを発表した。	A	地域防災訓練での6年生の発表は素晴らしい。今後も継続してもらいたい。	体育などの教科でのICTの活用
	特別支援教育の更なる充実	「特別支援教育校内伝達研修会」等の実施による教員の指導力の向上	特別支援教育構内伝達研修会年2回実施、特別支援学級との交流及び共同学習の充実、高学年児童のスクールカウンセラーと児童の面談実施	Q-U結果において、満足度群の割合上昇、特別支援(インクルーシブ教育)への十分な理解	B	B	エンカレッジルームを組織的に活用し、効果を上げてきている。Q-Uの結果を分析し、1学級1取組を充実させてきた。	A	特別支援教育の重要性は地域でも認識が高まってきている。今後も配慮をしながら丁寧に対応していただきたい。	エンカレッジルームのさらに効果的な活用
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	補習の実施や東京ベーシックドリルの活用によるきめ細やかな指導の充実と授業力の向上	補習年間35回の実施、学力アップタイムの計画的な実施、学びのスクールの実施	国学力調査・都学力調査…区平均を上回る、診断テストで100点を80%到達	A	B	国学力調査において、国の平均に迫る結果になった。平均を下回るものもあった。	A	学力調査の結果も上がっており、取り組みの成果が表れていてよい。	完全習得年間計画と家庭学習キャンペーン・補習教室との連動
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	読書科校内研究授業各学年1回実施、学校図書館蔵書の見直し	高学年児童の調べる学習コンクール出展率70%、学校図書館を利用した調べ学習の年間10回以上の実施	A	B	読書科の研究によって、学校図書館を活用した調べ学習が活発になってきた。	B	校内での研究と児童の姿が良い方向で連動していると思う。今後も活用を進めていきたい。	図書ボランティアとの連携を図る
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	休み時間運動遊び 年30回の実施、体力向上に向けた全校取組 年3回実施	体力調査において江戸川区の平均値を上回る。運動に対する関心を高める。	A	A	江戸川区の体力地を上回ることができた。体力向上に向けた取組が定着し、効果を上げてきた。	A	数年来の取り組みの成果が表れてきて、江戸川区の平均を上回ることができたのは素晴らしい。	全校での運動遊びの意図的・計画的な実施
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」の3つの視点を踏まえた取組の充実	体力向上に向けた全校での取組(力いっぱいタイム)3回、マラソン、なわとびアタック計4週間、生活リズム向上習慣年3回	オリンピックに対する児童の関心の向上、体力調査…江戸川区の平均値を上回る、全校運動遊びの実施	B	B	なわとびアタック・マラソンアタックにより、記録に挑戦する心を育てるとともに、体力向上につながった。	B	縄跳びやマラソンの取り組みは児童の体力向上につながっていると思う。2020年に向けてさらに意識の醸成を図ってもらいたい。	オリパラ掲示板のさらなる充実、友達プロジェクトの実施
相談体制健全育成の充実	健全育成の充実	「江戸川っ子・家庭ルール」の推進による児童・生徒の生活習慣や情報モラル意識の向上	健康生活カードの活用による年3回の生活リズムの見直し啓発、親子情報モラル教室の実施、江戸川っ子家庭ルール習慣の年3回実施及びカード活用による家庭への啓発	健康生活カードの生活習慣項目による「健康貯金」50点を超える児童が80%	B	B	健康生活カードにより、家庭への啓発ができた。健康貯金50点を全体の80%を達成できた。	B	積極的に家庭へ啓発を促しているのは素晴らしい。今後も小中連携スタンダードの取り組みと合わせて児童の生活習慣の向上に努めてもらいたい。挨拶や下校時の安全確保は地域でも高めていきたい項目である。	小中連携スタンダードの項目と関連付け、効果的なものにする